

NIE実践報告書 1999年度
「新聞から社会が見える」
和歌山市立西浜中学校



生徒作品 歴史新聞

1 はじめに

21世紀を目前にして、政治や経済、国際社会が大きく変化しようとしている昨今、生徒たちを取り巻く情勢や学校・授業の姿も当然のように変化しつつある。選択履修幅の拡大や「総合的な学習の時間」をはじめとする新指導要領への移行である。我々教師はその準備や研修に多くの時間とさまざまな知恵を出し合っている

しかし、生徒たち自身はどうであろうかと考えた時、学校が終われば塾へ通い、多くの知識を得ることに膨大な時間を費やしているのが現状ではないだろうか。

授業で「総理大臣の名前は？」との問いかけに「??!?」や「最近のニュースで について言ってるよね」の問いかけにも「??？」との答えだけが返ってくる。思わずこちらも「???.!!!」の状態になることがしばしばである。社会から閉ざされた中学生社会を感じ、生徒たちの将来に少しの不安を感じるとともに、生徒たちがかわいそうにも思える一瞬である。

そこで、社会科の努力目標を「生きる力」と関連して、以下のように設定し、授業の取り組みを続けているが、その一環にNIEを組み入れることとなった。

(1)「学習した知識を記憶の留めるのではなく、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決していく貴覧や能力の育成」

(2)「情報化社会に生きる者として、必要な情報を選択し、主体的に情報を活用し、自らの考えを構成し発表する能力の育成」

2 実践の概要

「歴史新聞」を作る(2年3学期・必修社会科 計4時間)

新聞紙面の構成を知る。読みやすい紙面を作るにはどのような工夫がされているかを知り、課題学習の成果を新聞形式で表現する。

「新聞を読もう」 - (3年夏休みの課題・必修社会科 計43日)

新聞に興味と関心をもつとともに、社会的事象への関心と出来事に対する自分の意見の構成。

「総理の1日と三権」(3年2学期・必修社会科1時間)

1学期の学習した政治的分野の学習の確認、授業の補充と深化の観点から新聞を読む。

「買い物しよう」(3年2学期・必修社会科1時間)

新聞の記事や広告から得た情報をもとに、模擬的に買い物をする。日々の出来事を伝えるだけの新聞ではなく、「新聞から日々の生活に役立つ情報を得る」の視点から新聞を読む。

「24時間営業は必要か」(3年2学期・必修社会科 3時間)

新聞や雑誌から24時間営業を行う企業の記事(情報)を収集し、24時間営業について「賛成」「反対」の意見として再構成し、弁論(スピーチ)する。

「株式投資に挑戦」(3年2学期・必修社会科 計2時間)

株式会社の仕組みを学習した後の確認のための、ゲーム的な活動。

3 考察

は9年前から続けられている授業の一部(年度によって実施時期は一定でない)であり、前年度等の優れた生徒作品を譲り受け、授業前にサンプルとして提示をする。年度を追うごとにすばらしい作品が作られるようにも思われる。

は4年前から続けられている夏休みの課題である。「スポーツ」「環境」「政治」などの生徒自らが設けたテーマに沿って記事を収集しコメントをつけた作品、「社説」やシリーズ記事などの特定の記事を収集しコメントをつけた作品、読者投稿意見を収集し、その投稿意見に対してコメ

ントをつけた作品、4コマ漫画への感想や漫画の主人公に対する意見など多くのアイデアが見られ、社会科の努力目標(2)の能力の育成に大きな役割を果たしたのではないだろうか。

では授業の進度との関係で授業の一環として実施したが、夏休みの課連の成果だろうが、生徒たちは新聞をじっくり読むことができ、またNIEでは学校に複数社の新聞が届けられるため同じ内容の記事を読み比べるなどの活動により、生徒たちは社会的事象に対して多面的な見方や考え方が育っている。これが普段の授業で学習内容について種々の意見を構成する能力となり、発表する能力に発展しつつあることがNIEの最大の成果のように思われる。また、この「多面的にものを見る能力」は、仲間や友人を見る能力にも発展させたい。

4 成果と今後の課題

成果に代えて夏休みの課題提出後の生徒の作文を記す。

「正直言って大変だった。毎日、毎日新聞を読んだのは初めてだったからです。新聞と言えば日頃はスポーツ欄かテレビ欄、そして折り込みの広告しか見なかった僕が新聞を読み続けました。そして切って貼って、コメントを書く。新聞が休みの日はうれしかった。高校野球の開催されている期間はその記事を中心に読み、コメントも苦勞なく書けたように思うが、それが終わってしまうと政治や経済、世界の出来事の記事を読むことになったから本当に困ってしまった。まず、ことばの意味が分からない。辞書を調べたことも何回かあった。だから事件や事故の三面記事を読むことが多くなったような気がする。そうするとコメントが書きにくい。とにかく苦勞した。でも、毎日読んでいると、「この記事は数日前の記事の続きだなあ」とか、テレビでニュースを見ていても、「新聞にあった事だ」とニュースを見るのがおもしろくなったような気がする。「**新聞から社会が見える**」ような気がするから不思議だ。最後に「新聞っておもしろい」というのが感想です。これからもできるだけいろいろな記事を読むようにがんばりたい。(3年生男子)

今後の課題として、3年前から取り組んだNIEであるが、その実践の多くは必修社会科(昨年度・本年度)及び選択社会科(初年度)と英字新聞を活用した英給料の授業であった。確かに新聞は日々の社会の出来事を伝えるメディアであるため、社会科での活用に度合いは高いと考えられる。しかし、その紙面の情報量は膨大である。今後は、他の教科だけでなく、これから始まる「総合的な学習の時間」での新聞の活用を模索したいと考えている。

私の授業にとって、新聞はテレビとインターネットとともに欠かせない情報源であり、貴重で最も有効な教材の一つでもある。可能な限り多くの場面で活用したいと考えている。

最後にNIE = 「教育の中の新聞」であるが、EIN = 「新聞の中の教育」の視点からの紙面づくりをお願いしたい。